

a ミッション	【校訓】「こころひろく ゆめおおい」	ふるさとに誇りをもち、自分を愛し、夢を語る児童の育成	ビジョン【学校教育目標】自ら学び、たくましく生きる 【めざす学校像】一人一人を大切に学校の授業を大切に学校の地域や家庭を大切に学校 【めざす児童像】自ら考え、自ら学ぶ児童【めざす学習の姿】心を導く心「めざすを身に付けた児童の人数として思いやりをもった児童の人数を伸ばし、自らを管理する児童 【めざす教職員像】○学校教育目標に向けて協働する教職員の教育のプロとしての自覚と誇りをもつ教職員の資質・能力の向上に努める教職員【めざす教育の責任を果 たす教職員	【育成を目指す資質・能力】 【知識】知識・情報 【スキル】課題発見・解決力、思考力・判断力・表現力 【意欲・態度】主体性、コラボレーション力 【価値観・倫理観】人としての思いやり、自らへの自覚
---------	--------------------	----------------------------	--	--

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h	i	j 結果と課題の説明	k 二次評価			m 改善案	
					e 達成率	e 達成率	達成度	評価		イ	ロ	ハ		
確かな学力の向上	○「学びの变革」アクションプランの推進するための授業改善を行い思考力・判断力・表現力をつけ、主体的に学ぼうとする児童の育成を目指す。 ○学力フォローアップ校事業の推進を行う。「学びの習慣づくり」を行い、基礎学力の定着を図る。 ○外国語活動の推進を行い、英語にふれる機会を増やし、英語に対する興味・関心を高める。	○課題発見・解決学習、協同学習・せらにし授業スタイルの授業の実施(年2回) ・課題設定場面の工夫、見通しの場面の工夫、振り返り ・協同学習で学んだ対話を日々の授業に生かす。 ○家庭学習を発達段階に応じて提出し毎月90%以上の提出率とする。 ○つばきタイム(4種類の課題)・さよならタイムの確実な実施と自作の計算プリント、長文読解問題の作成 ○モジュール授業の工夫を行う。 ・低学年 詩の朗読 ○クラスルーム・イングリッシュを行う。 ○委員会活動等、校内放送は英語で行う。 ○英語検定(中学校との合同)の実施(年1回)と英検に向けて計画・立案・実施	○「標準学力テスト」全国学力・学習状況調査の学年平均が全国平均以上 ○「標準学力テスト」で40%以下の児童の割合 ○毎月の単元テスト80点以上の児童の割合80% ○学期末に行う自作の計算プリントの正答率80%以上の児童の割合 ○英語検定合格率	80%										
				10%										
				80%										
豊かな心の育成	○地域の自然・文化・人を活用して地域とのつながりを深め、郷土に誇りをもち、人としての思いやりをもった児童の育成を図る。 ○特別な教科「道徳」を問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた授業を行う。 ○ふるさと学習を取り入れた「総合的な学習の時間」開発単元学習の授業を行い、改善する。	○時間・挨拶・掃除しようず」の4段階レベルを提示し、具体的な望ましい姿を提示する。児童会と連携して、自主的な行動の意欲付けを図る。また、「挨拶大使」を学期ごとに認定する。 ○「道徳」の授業では、友達と話し合うなどして自分の考えを深めたり広げたりしている。」と肯定的な評価をした児童の割合(児童アンケート) ○「せらにしが好きだ」と肯定的な評価をした児童の割合(児童アンケート)】	85%											
			80%											
			85%											
健やかな体の育成	○自ら課題をもち、柔軟性・握力等を鍛え、自らを管理する力を育てる。 (2) 基本的な生活習慣の定着を図る。 ○保健朝会や給食指導、委員会活動等で、食事のお手伝いの大切さやバランスの良い朝食の具体を示していく。また、家庭学習として「食事のお手伝い」を週に1回程度、設定し、頑張りカードを利用し、児童の食事への関心を高める。	○体育委員会を中心に実施させ、毎月(月・火・金曜日)中距離走の記録をとり、目標意識をもたせ、記録向上を図る。【水曜日はワイブチャレンジを行う。】 ○長座体前屈の測定を定期的実施し、記録の伸びが高い児童と学年の最高記録を出した児童を表彰したり、「せらにし小ギネス」を作成し掲示したりすることで、一人一人にめあてをもたせて柔軟性を高める。 ○早寝・早起き・朝ご飯の習慣が身に付いた児童の割合(保護者アンケート) ○食事の手伝いをした児童の割合(保護者アンケート) ○バランスのよい朝食を摂取する児童の割合(保護者アンケート)	80%											
			70%											
			80%											
信頼される学校	(1) 人・文化・自然に関心をもち、地域に誇りをもち、郷土への誇りと国際感覚をもった子どもを育てる。 地域社会・家庭との連携のもと信頼される学校づくりを行う。	○せらにし小太鼓の継承を児童から児童に行う。 ○地域で継承されている太鼓に携わられている方から思いを聞く。 ○週1回の相談タイムを設ける。(困っていること等)を出し合う。 ○月1回の勤務研修を全教職員が担当実施する。 ○月1回、ホームページの更新を行う。	85%											
			100%											
			100%											

【学校関係者評価】 イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。ハ:わからない。